

バストス週報

第六一三号
昭和卅七年
一月一日
発行

DIRETOR
KÔITI MORI
REDATOR
SHION ODA
RUA PRES.
VARGAS 188
C. Postal. 112
BASTOS
C. P
ANUAL
CR. \$
300,00

桃源 1

正月はめでたいか

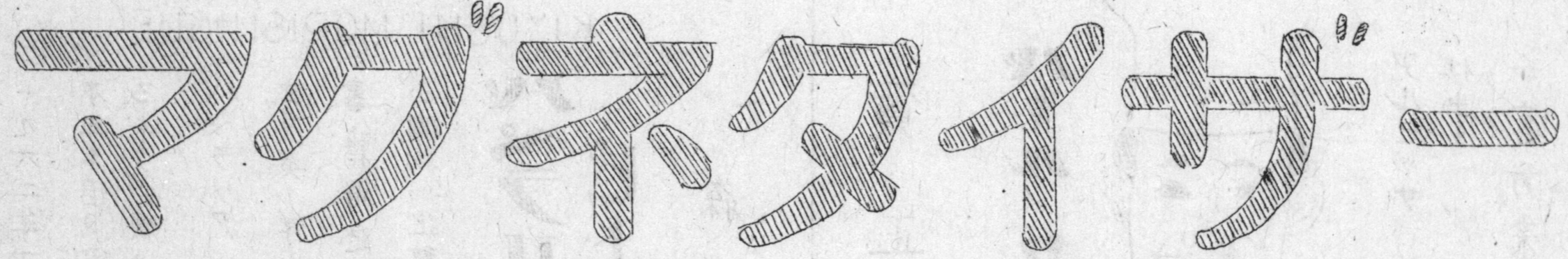
「あけましておめでとう」と我々はい
う。新年を慶祝するは古来の社であるが
実際には洋の東西に於てその深さに離り
があり、時の古今に於てその濃さに遠い
がある。たとえ思われる。

正月を特に力を入れてめでたがるのは
日本人で、次が中国人、朝鮮人である。
ペルシヤやインドその他の東洋諸国でも
祝うのである。その儀式や方法なども
あまり知られていない。

欧米諸国になると、おっと感じは稀薄に
なる。英語に「ニューイヤー」があり、ホ
語には「エリクス・アッシュ・ホ」という新年の挨拶
がある。ので、慶祝はするが、口ささば
かりで、正月三日を遊び暮すこともなく、
飾りししたり、餅をついたり、いわゆる「迎
春の心構え」のようなものはない。らしい。
雑煮はないにしても正月用のホンとか、
「ズ」などというものもないかと思れる。
慣のあること、知れない。伯人に限らず、
改米はクリスト教国が多いので、クリスマ
スと正月を抱き合せにして、よろこびをあ
らわす。賀状のやり取りは、少くはあ
る。金持階級なり、ナタールは、少くはあ
る。聖樹を立て、金糸銀糸に豆電灯を飾り、
宴会をやったり、バイレを値したりするが、
正月は別に年始に歩くわけでもない。よ
く、る。地球が三百六十五日かかって太陽
をぐるりと一周し、その位置に変わって
くるのが、何故か、めでたいのである。う
か、その一周を暦法では一年とよび、人
とって、一週を暦法では一年とよび、人
期(紀元世紀)として時代の劃期とする。そ
の計算便法をよるこぶのなら、何も日本
や中国人だけである。世界の中の慶祝目標と
すべきである。うのには、世界中の慶祝目標と
すべし。めでたい。以外に、さほどめでたがり
もせず、日本人や支那人だけだ。とすると、
少くは、日本人や支那人だけだ。とすると、
ほく、愛な兵合なものである。そのわりを
新年をことほぐ思想は最初は支那に起
ったものでないかと思ふ。古代のこと
は判らないが、唐の時代、太平の打ちつづい
た頃、晩秋、収穫がよって、長い冬眠期に入
ると、室内遊戯をしたり、都では投扇

新年賀謹

一九六二年一月元日



近江商事

COMERCIAL MAGNETIZER LTDA.

Rua SANTA TEREZA, 28 11 AND 5/1108 SÃO PAULO

バストス
代理店
植木商店

戯やスゴロクがはやり、二十日も三十日も遊びくらしたというところである。だん社会制度がととのい、貴族富豪らは農奴を使つて我儘をした時代だから、新年の行事も次第に派手になつて来たのである。唐の朝廷では高官貴紳をはじめ、もうの役人が朝賀に参内すると酒肴を賜わり或は長夜の宴を張つて恭平を祝つたものである。

朔北の蕃人に侵入されたりすると長夜の宴どころの騒ぎでもあるまいが、幸いに夏那の正月は大陸の極寒期だから満蒙の夷人も雪にとじこめられ、万里の長城を越えて攻めこむこともないから、正月になるとうれと相対縁日も酒びたりである。

この唐時代の思想学問文物風習が、そのまま遣唐使によつて輸入されたのであるから、正月を寿く考え方が日本を風靡したのは当然のことであろう。だが日本で正月を祝つたのは古く平安朝中期で、朝廷に百官が参賀した程度で一般百姓のフェスタではなかった。これが江戸時代になると恭平と文化が混然として民衆に及び江戸の町々では正月慶祝の気風が著ろ武士階級を凌駕し、三日は三ヶ日として休むのは勿論七日迄は松の内、二十日正月に入るまで正月慶祝は一層華やかになり、女子供も、何がしらめでたい、でうがれ歩いた。我々の幼少時代の記憶からひろい出して正月の遊びは多かつたし、楽しさもひとしおであつた。

文学用語にして元日、元旦、元朝、初日、若水、初詣、四方拝、年賀、御慶、年酒、その他、万才、十六むさし、かぞえ上げると何程あるかわからず、こころみにラジルにこれに似たものがいくつあるだろうか。戦後日本の様子もかわつて正月風景の色わけもちがつて来たであらう。古い正月的習慣もすたつたであらうか、たちまち正月をめでたくないという挨拶は出来ていない筈だ。

我々も正月の挨拶はこれまで通りにしているが、朝の挨拶にはおはようといひ、新年の挨拶にはおめでとつといひは、めでたいか、いふのでなく、アまた正月ですな、アアよろしくたのみますよ、程度の気持の表現であると思ふ。

旧年中はいろいろとお世話になりました。新年中はどうぞ本年もあいかわりませましと云わねばなうぬ人もあらうか、道路の中程で純日本式にやられると、どうも二が手である。

正月をめでたくも何とも思わなくなつたこと自体が「ラジル」の証拠かも知れない、何しろ久しく数の子を食べたかどうか、といつてシヤレになる。

(系音)

PAPELARIA VITÓRIA

KIYOSHI MORISHIGUE

謹賀新年

一九六二年正月元日

本年も倍旧御引立て下さるようお願い申し上げます

パペラリア

文具類・学用品

書籍雑誌

小荷物・化粧品

パペラリア

ビトリリア

森重清

R. PRES. VARGAS 321
C. POSTAL 14 BASTOS

BAR e RESTAURANTE "SETE"

賀正

パールセツテ



パールモッサ ジャンター

仕出し

千客万来

未長く御引立願ひ申し上げます

経営 森重父子

TIPOGRAFIA
E LIVRARIA

Sta. Terezinha
HIRAYUKI KOBAYASHI

小林
印書籍
店

小林 平 行

あけましておめでとう
ございます。
旧年に倍し御愛顧の程願
上げます

會計事務一般 帖 簿 類
デスパシアンテ 外国書籍雜誌

バストス市
フアルガス街 角

Coop. Agrícola de Cotinga

謹賀新年

一九六二年一月元旦

コチア産業組合

バストス倉庫

プレシデンテ ヴアルガス街二四六

電話 八番
郵便 八八番

とらの話

寅は十二支の第三位、方角を示す場合は東北の向、時間を表わす場合午前四時十二支の動物名をとって人の場合、名にすることがあるがトラの字は最も愛用される。落語に出てくるクマさんの相棒は八さんかトラさんである。いくらの動物の名が好きだからといってネコやネズミは誰も相手にしないが、タツと共にトラは好まれる。強いからであろう。

寅一、虎次郎、寅三、虎四郎、虎の字へ数字をくっつければ大体よい名になるし号だとして虎吼、龍虎、虎怒、など中々しやれている。

虎は日本にもブラジルにも居ない。加藤清正時代には朝鮮には居たものらしい。おとなりの中国には昔から存在した。うなことを書物にかいては相違ない。かし中央アジアのイラクの山中には接んできたことが、明かになった。ゲンギスハイン(十三世紀)のモンゴリア遠征軍がイスラム軍を征服し、帰途山中で虎狩をやった。十数頭はとめたというところが記録されてある。現代虎のいる所というところ

印度がアフリカだけのようである。南阿のターバンであったか、動物園の広々とした庭に虎が放飼してある。人が向かかかつてくるような室に入って、悠々溜歩する虎を眺めるようになっていた。ウーイーといまは思っても思わす。鉄格子があるから大丈夫がした。

昔は虎の皮が安かったせいがかミナリさんのフンドシ位にしかなかった。元アタが、今では一枚何十コにもなる。元アタの業務担当員加藤好之氏は皮を好む。すきで自宅の豪壮な客間にオンサの皮を飾り、めとれ大虎小虎の皮が壁かけ、敷物となつていて、はじめに客向へ通された人など、ちがみ上げる程だった。

アフリカ趣味だなどと、蔭口をまく人もあるか知れぬが、最低給料ではとてもとでも、あの真似はできまい。

酒に飲まれると虎になる。奥のこを虎の巻といひ、ヘソクリなことをいふと虎の子といひ、俳人なら虎が雨、などといふ季語を知っている筈だ。大磯の虎が深く契った曾我祐成の命日へ五月廿八日討たるに雨がふるとその悲涙である。うとの意である。コントデビガリーオで金を史うは虎れたのかどうか未定である。(系)

Cabeleireira Calarina

アボン化粧品会社代理人

上々島美容院
上々島光子



明けまして
おめでとう
ごいいます
本年も相変えず
お引きの程願上ます
一九六二年一月一日

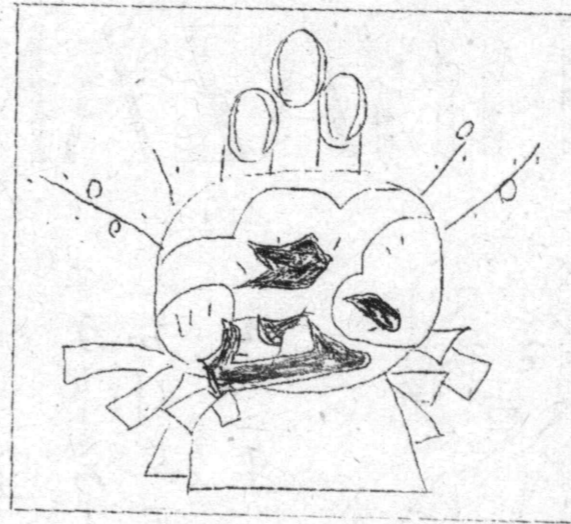
BAR E RESTAURANTE PRIMAVEIRA

謹賀新年
一九六二年一月一日
パール
プリマベイラ
プヴァルガス街
木林川悠二

BARBEIRO Nº 1

笑心
一九六二年元旦
男前製作所
プヴァルガス街
木林 行義





1 de Janeiro de 1962

スールブラジル中央農産組合

COOP. CENTRAL AGRIC. SUL BRASIL

RUA ADHEMAR BARROS
RUA 10 DE NOVEMBRO

バストス出張所
C. POSTAL 91
FONE. 7

FOTO MIYAZAKI



あかぬけしたフォト
宮崎写真館

RUA 10 de NOVEMBRO
645

賀正
本年もよろしく
お引立下さい
一九六二年一月元日

POSTO "ESSO"

ポストエッソ
板垣茶熊

バストス市
アダマルデバロス街五九二

謹賀新年
一九六二年
一月元日

ALFAITARIA MODERNA DE TOMOTANI

友谷洋服店

謹賀新年
一九六二年一月一日
本年もよろしく願ひ上げます
バストス市アダマルデ
バロス街 二〇二

ナモーラと老人

浮田 現 亦

世の中で何が引合わんといつても「親」という存在程一方的な不利な立場はあるまい。子供が生れるとその日から自分の生命のある限り、することなすこと子供のために心身を使い果たしてしまふ人だから、人同「親」になつたらもうお終いだ。だから昔は「親のご恩は山よりも高く海よりも深し」といつたのであろう。ところが今はどうか。時代の衰遷もあるが老後子供に見てもらふと云う弱心も手伝つて子供のご機嫌とりだ。ああよしよし、そうかそうかと育つて上げ、ジナジオへでも通ひ始めると学科の事をきいても親は良く解らない。子供は親よりエライとうぬ惚れ出し、時には親を見くびる。そこに氣ままだが子供が出来てしまふ。学生の身分であり乍らはやナモーラなど始める。我儘放題に育てる家庭にこんな子供が多いのではなからうか。

商売とは物を売って利益を得るのが第一条件かも知れぬが私達の林な年取った者はそんな事より、自分とこのフレグランスが、子供から学生に、立派なモッサ(モッソ)にカザト(カ)にと年と共に成長してゆく姿を見て居ることの方が遙かに楽しい。だから高い品を売つたり、悪い品を渡して恨みを受け取る様なことがあつてはならぬ。愛をつかたり、末長く知り合つてほしいと希望するが、知り合つてもうらうこと、自分の誇りでもあり、喜びでもあるのだが、おかしなものだ。

相手の若い人から見れば、なんだ、あんなベリリヨが「位」にしか映らないだらうが、この心境は老人でなくては味わい得ないものだ。何か愛情のようなもの、湧き上り、若い人々の幸福を祈らねば居られぬ。若いが商売以外に心から離れない。だから愛なことであれば、他人の子だから、いらぬお世話、かいをせんでもよいの。つい注意をして反つてあこられたりする。

某日のこと
バストスの学生さんの大部分の御両親は教養の深い方達だから学生さんは皆勉強一心に打ち込んて居なさると老妻と二人で感心して居た。

その日午後又学科があるとかで店先で待つて居る二年生の小娘があつた。戸口の柱にもたれかかつて男の子とキヤツクと話し合ひ、道を通る人も顔をそむける様なありさまだつた。さういふ昨日もおとといも、今日のヒルも相手の男の子は同じで時には静かに、ささやいて居るともあつた。これがナモーラの卵だな……

カハ
貝
替

SAPATARIA BASTOS

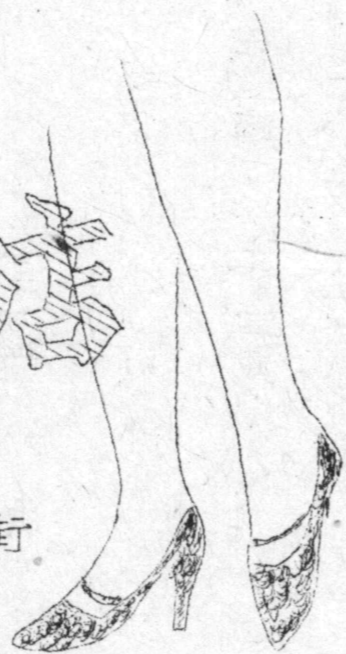
靴類 及 運動具

早川靴店

いつも よい靴を 安く 差上げる店

バストス プレシデンテ ヴアルガス街

C. POSTAL 159



CASA PROGRESSO

三次商店

内外雑貨 食糧品 電気器具材料
ラバンダ プロセスセンチ ETC.

Rua Pres. Vargas 311
Bastos

1962年
元旦

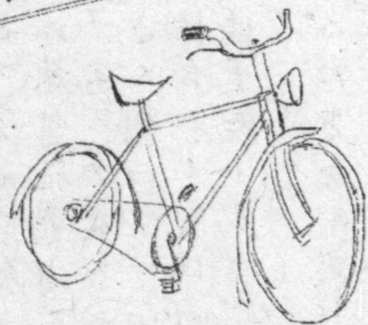


明けましておめでとう
ござりますます

Funlaria SHIMIZU

清水鋳力店

自転車と
鋳力細五一式



一九六二年 寅 元旦

明けまして
おめでとう
ござりますます

Rua Presidente Vargas 2011番地カ+ス 下階

CASA KASITA

梶田商店

内外雑貨・食糧品
雑穀・ベビーダ

一九六二年 元旦



バストス市
マデマール街三三九
電話 三六四
三三八

智春

一九六二年

元旦

内外雑貨百般
カーザコロニア

重道永栄

電話 二七
郵便 八九

冷蔵庫・ホゴン

リキジファイカドール

マキナビゴレリー

その他

家庭用品一般



Loja

重道商店

ロージヤリキガス
代理店

電話 二七番

各種マルカがあります
今が買ひ時です
暑くなりますとどうして
も値段が上ります
買ひ易いプレスタソン
でお求め下さい！

と思つたとなん... 例の要らぬお世話
の愛情が焼えて... Xさんうちの店先
でナモイラして... 困るよ...
へんの恋路を邪魔する奴は馬に蹴られて
死んじまへ」といふ唄がある。大切なフ
レグレスをペルテするにも忘れて、
ちの志願でナモイラしてくれば困るな
と志願人らしくないことをいつてしま
「おじさん、うちナモイラなんかして
ないわよ...」と件の小娘は抗弁した。
「実際の所とんのがナモイラなのかナモ
「ラの定義は私にもよく判つていないの
だが、時間と場所を打合せて異性同志が
打とけて語り合うのはナモイラの始まり
ではないのか。」
「何はともあれ、あんた方の態度は外の
学生さん達や、通行人の目ざわりになつ
てこまるから、ナモイラするなら公園の
方へでも行って、おくれ」と暗にそん
ことやめて学生の本分を守り勉強に精出
しなさいよとの意を含めたのだ。た
「以来それらナモイラまがいの一団は店
えよりつかなくなつてしまった。
「老妻は大事なフレグレスをペルテしたことも
「ら小娘の両親への思惑などを、しきりに案
じていた。なにを、よくよ川はた柳、近
頃田碁の味を覚えて、人の顔が碁石に見る
折柄、バアさんには大口をたたくものの
矢張り何か心の底にしこりが残つてい
ようで、淋しくていけな、そん心をは
ぐらかすために碁を打ちに出かけるので
あった。」

謹賀新年

谷 口 章

賀 正

崎 田 春 一

恭賀新年

上 西 泰 治

賀 春

岩 田 喜 代 治

謹賀新年

小 林 平 行

Coop. Agr. Banseirante

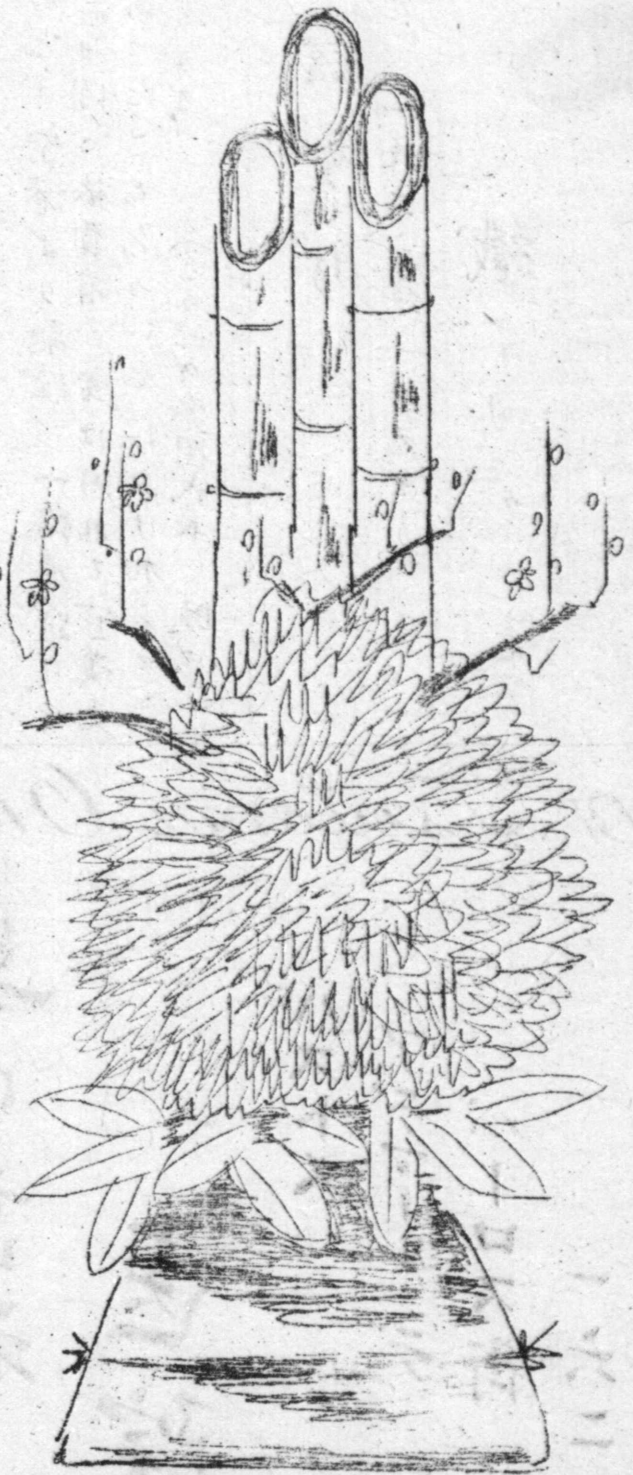
バンセイランチ農産組合
バストス出張所

RUA 10 DE NOVEMBRO

C. P. 62

FONE 6

在アルト区 孵化場 種雞場 農場



1962

バウルー市インテリオール
音楽発表会参加廻想記

四月廿九日午後十一時廿五分、よく晴れたバス
トス空港は、多勢の見送りを受けて楽団一行は
夜間飛行の客となる。ふわり／＼と揺られたつ
高度一千二百米、一路バウルー市へ飛翔。小窓の
隙間から絶えまなく、寒い風がヒリ／＼吹き
こんで一行の浅い眠りを脅かす。

○秋の風心にしみる空の旅
翌朝五時廿五分朝霧にとびされたバウ
ル空港に到着

○朝霧につつまれ空港に下り立てり
疲れた足をひきずって大都会風の市中を
ホテル探しに歩き廻ったが中々日本人経
営のホテルが見つかからない。どのホテル
も前契約で超満員の有様。それもその筈
今度コンクールの参加のチームは各方面ハラナッロ
カバナ、ノロエステ、パシリスタの都市から多勢の
参加があることになっている。

重いマラウをさけて、やっと日本箱を見つけ、よ
うやく、落着くことができた。一行旅装を解い
て一と休み、今日のプログラムは正午から用
会で朝の時間を暫く練習にあて各自のコン
ディションをととのえることにした。

会場新装日伯文化協会会館。主催はバ
ウルラジオ日語放送部。同所より中継放
送されることになっている。いよ／＼十二時が
ら童謡予選から開始された。夕刻から歌
謡曲に移り、聴衆は大入満員。この夜十
時から楽士歌手歓迎バイドが催された。
第二日目も正午より始まり童謡歌謡部の決
勝が展開し、各地より抜き目の代表歌手の大激
戦である。我楽団では女子部が入賞第三位と
獲得大いに意を強くした。

最後の呼物は音楽団だけの演奏コンクールで
あった。各楽団の越演が行われ、審査発表
ではフルテラ楽団が第一位入賞だった。
この楽団は粒揃いの弦楽管楽多教で編成
され、伯人フルテラ楽士を加え、一系乱れ演奏ぶ
り、洗練された楽士の技術と、謙虚な
態度といひ、私共の学ぶべき点が多かった。

バウルー空港より離陸、一路帰途につ
く。二日間の旅費宿舎費は何れも官費支
出であったことを、いのでにつけ加えてこ
の稿を了る。(この時の楽団代表 暁星)

謹賀新年

一九六二年一月乙乙

織田 系 亮

恭賀新禧

一九六二年一月一日

昨季中にお引立を頂き、
有難く仰礼申上ます
本年もよろしくお預
申上ます

FARMACIA UNIÃO

板垣薬局

板垣寿勢雄

RUA ADHEMAR DE BARROS ESQ.

賀正

一九六二年一月一日

奥田齒科

医院

Dr. Tsutomu Okuda

バストス

アダマールデ

バーロス街

一六二

FIACÇÃO DE SÊDA BRATAC S.A.

恭賀新年

一九六二年元旦



蠶養製撚
種蠶系系

ブラタク製糸株式會社

天野賢二
谷口章
従業員一同

聖市本部 ウエンセスラウブライス街二〇八一〇階

電話 三三・四五六九番

バストス五場 ゼネラルオブリオ街二〇八

郵便 三九
電話 九

CASA
ESPERANÇA

RUA
ADHEMAR
DE
BARROS 213

郵函 九八

藤原金物店

金物一式 電気器具
農器具 チンタ 陶磁器

謹賀新年
一九二九年元旦

CONFEITARIA NAKAHARA

バストス名産



中原菓子店

アデマールバロス街角



本日も倍旧
作引立の程
願上ます



にぎつてたすんでしまった少年と、
 授けなかつた娘達は少年に近づいて握手
 を求めた。少年の手に口づけした少女が
 いっの間に少年の後ろにきて少年の馬
 の手綱をいっしよに握つていた。
 少年より一年程先に渡伯した青年は娘
 達に囲まれて面白そうに話しては時折リ
 大声たてて笑つたりした。そこより五六
 メートル離れて少年は少女と並んで遠く原
 始林をぼんやり眺めていた。少女は尋の
 字の記章のついた学生帽をかぶり、霜ふ
 リの詰襟服を着て皮のポライナをつけた
 少年の姿を頭の上から足の先まで珍ら
 し相に見おろしている。
 年増娘が思いついたようにバストの横
 棒三本元通りにはめて、青年の馬の手綱
 を渡いてみんなど連立つてバストの細道
 ぐたいにグラマの上を踏んで下りてきた。
 少年は振りむいてから青年は後ろから来ると
 年を度いた少年は足を早めて青年に追いつ
 こうとしたが、少女は早めて青年に追いつ
 わざとのろのろ歩くので青年との距離は
 だんだん遠のいた。
 あたりはほつほつ昏れかかりバストの
 下の方から沢山の牛が道沿いにのほつて
 来て先に行く人達は見えなくなり、その
 牛が少年の前までやって来た。少年は牛
 を恐れ立ちどまると少女が前へ出て馬
 の手綱を振りまわして追つた。先頭の牛
 が首を振りふり横にそれて通りすかた、
 つづく牛達も頭を振つては横にそれた。
 その間少年と少女はそこに立ちどまるとい
 た。トジョンとトジョンと音が今晩のファン
 ゴにモツソボニートが来るといつたから
 めんなでトマカ石ーからバストの入口で
 待つていたの。
 少女はそう云い乍ら少年のパレットの
 ふくらんでいる上を押えて「これ何ア」
 と少年がホルソからとり出したのは仁丹
 とニ枚の日本のレンソであった。そのレ
 ソを一枚取れと少女というので、それレ
 ソを一枚取れと少女の片手を軽く支え
 て掌に仁丹の赤い粒をのせてやり自分の
 掌にものせて口に入れて見せた。二人は坂
 道を下つて、川沿いの径を歩いた。その
 川下二百米程の所にラシジャカスニアゴヤ
 バシヤホチヤなどの樹林にかこわれた高
 台があり、丸瓦ぶきの大きな古館が見え
 る。家の周囲に小屋が数棟建つていて、
 空へ煙がたちのぼつていて、焚火のまわ
 りには多勢の人が佇ち、ピオロンの音がし
 ていた。
 その家から五六人、こちらへ走つてきて
 先に行く青年と娘達と一団になり、少年
 の方に向つて手をしきりに振つた。その
 中から一人の男が少年の方に走りよつて

COOP. AGRO-AVICOLA DE BASTOS

おめでとうございます
御座います
一九六二年一月一日

RUA PRES. VARGAS 396

JAIME OKADA

岡田石材工場

人造石製作一切

Rua Oswaldo Cruz 553
C. Postal 184
Bastos

賀正

1-1
1962

きたので少女は馬の手綱をその男に渡す
と男は馬を曳いてさっさと先に戻って
川向うからタマンコを手にさげた五六
人の男女が一本の丸木橋を渡って来て
少年と少女に挨拶して、先に家の方へ登
って行った。
古館の表庭は可なり広く、中央に大きな
丸木を積み重ね、それがホウ／＼と音を立
てて燃えているのである。
その古館は土台下三米もあつて、マツヤ
ードで削った五センチ厚さの床板で張りつ
め、ジツサウをシッポであんだコメに白粘土を
手で塗りつけた厚い厚い壁である。床下
に仔牛と山羊と羊、あひるに七面鳥、鶏
が出たり入ったりしてゐる。
庭から家の上るために大きな角材を組
み十段ばかりのエスカレーターがついてゐる。
登った所が八米平方ぐらいのサロンで
表側に大窓が三つ開いてゐる。奥の壁ぎ
わにメリザの高さの台があり、その上に
高さ八センチ巾四十センチ位の神棚が
据えてある。草花がビンに生けられ、そ
こから細い色紙が八方に引張つてある。
サントの前には近づいて、口は何やら唱え
胸に十字を切つて、それから人達の話し
仲間に入るのであつた。
少女は少年の手をとつて広間に上り、サ

ントの前に近づき、少女が何かさつて十
字を切り、少年の顔を見て促した。少年は
何もしわす一寸顔を下げ、少女のやつた
ように真似をした。少女はまた少年の手
をとつて奥の間に連れてはいった。
（この部屋に用事のない男は入れない）
そこには白布で被われた大きなメリザ
があり、その上に骨と肉のまじつたマンジ
カ粉が山のように積まれてある。
次の間は土間で真人中に丸木をもや
上に赤鍋がつるしてある。そのまわりに
女や子供たちが大勢いた。
少女は肥つた老婆の前に少年を連れて
行き、ちよつと合掌してアベンソという上
なことをいった。老婆はニコ／＼しながら
少女に少年の手を握らせて裏庭の方を顔
で指した。大勢の女や小供達はこの様子
を身動きもせずに見ていた。
三段程だん／＼があつて裏庭に出る。
この家は坂の上で建つてゐるのであつた。
その時五六人の女が列をなして頭にホ
ツテをのせて、下の川から水を運んで家の
横かき上つて来た。
ゴヤーバの木の下に大きな豚がねてい
る。床の高い小屋にミトリヨが一ほい話
つていて、その床下に牛がねてゐる。屋根
だけの小屋の中にフラシでみがき立てた
二頭の馬がミトリヨを食つてゐる。それ
は青年と少年の乗馬であつた。

賀正

一九六二年一月元日



石橋農具研究所

サンパウロ新聞バスター支局

Choji Ishibashi

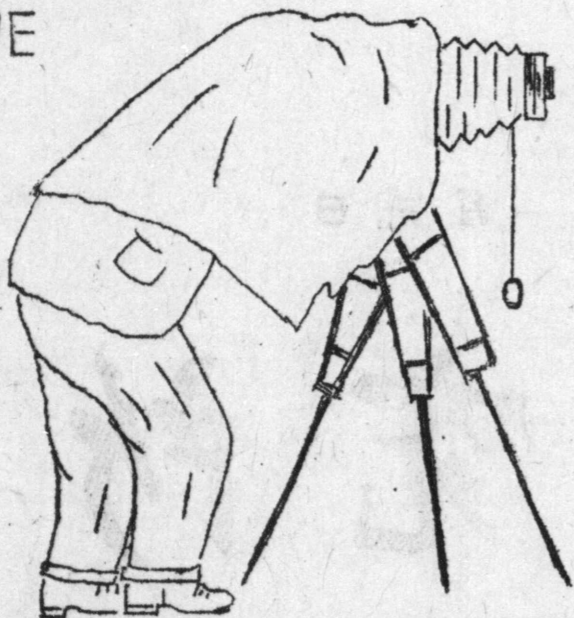
c. postal 郵 函 26

Rua Pres. Vargas, 117 Bastos

Fone. 電 話 25

POTO COMETA

RUA DUQUE DE CAXIAS



鳥本写真館

謹賀新年

一九三三年元旦

Permanente SHIMAMOTO



島本美容院

一九三三年 一月一日

RUA DUQUE DE CAXIAS

明けましておめでとう
ごきげんよう
本年もごきげんよう
願上げます

(十四ページよりつづく)
少女は少年をつれてあちらこちら見せて歩き、裏庭に戻ってくると表の方で爆竹が鳴った。今まで表庭で鳴っていたオロンが家の中で鳴り始めた。男達や若い衆がどやどやと広間に上って表の窓際に佇ちかたまつた。
女や娘達は奥のコジニヤから表の広間に出て神棚のある壁ぎわに並んでバンコに掛けた。男たちは殆んどタマンコをはいでいる。靴をはいている者も三、四人はいた。女は既かほとんとで中には牛の生皮で作ったゾリーをはいたものもいた。裏庭かう表の庭へ廻って青年のどこに行こうとした少年を少女が強引に手を引張って炊事場から表の広間へ連れて出た。青年は男達の中でひとり人気が多かった。盛んにふざけた話かけたり少年を肥った娘の横に腰かけさせ自分もその隣りに並んで腰掛けた。その両側のバンコに数人の女や娘が腰掛けた。奥の奥の表の窓際に三、四人のビオロンひきが一つのバンコに掛けていて、その中の一人が唄うと、それに合せてビオロンをかき鳴らし、それが終ると次のビオロン弾きか唄い出し、それが又三人が一しよに唄って、三人が狂ったようにビオロンをかき鳴らし、その男が広間の真ん中に出てパチパチと手と手を打って体を一まわり廻してタマンコでガタガタと三回くりかえして床をふみならすと、大勢の男が出て、いって輪になつた。その男たちが手を打ったり足踏み鳴らしたりすると、こゝろは女や娘たちが出まわって一人一人男と男の間に入りこみ、大広間一はい二重三重の大きな人輪を作つた。
タマンコに合せてタマンコを踏みならすと、オロンに合せてタマンコを踏みならすと、大きな人輪が右と左に廻りはじめた。男がはじめ右廻り女が左に廻り、廻り乍ら男は右手で女の右手を握って輪の内側に入り、男が次に来た女の左手を握って輪の外側に合せて廻り、いつも男と女が顔オロンに合せてタマンコの音高々と廻るのであつた。
唄の節が終ると右廻りをしていた男達は急に振り向いて左廻りを始める。女は左廻りから右廻りになる。そこでまた唄の節がすむと男達は手を打ち乍ら足で調子をこつてかき、と、しかし、辞かたに調子その間を女達は体を浮かすようにしてサイヤをふくうせ右へ左へと体をぶらさして、男と男の間を、すました顔で唄い手がかわると男達は女の外側に

NOSSA OTICA

本 田 時 計 店

本年も相変らずお引立の程
御願申上ます

Rua Adhemar de Barros 213



一九六二年
一月一日

ALFAIATARIA BORGHI

Geraldo Borghi

ボ ル キ 洋 服 店

賀 正
一九六二年 元旦

ルア アマル デバルロスニニ

QUITANDA BASTOS

キ タ ン ダ バ ス ト ス

賀 正
一九六二年 1.1

阪 東 通 一

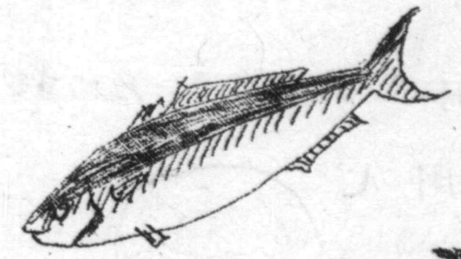
直 言

寄 附 行 為 の 過 剰

上 田 敏 夫

一 去 界 は 第 二 次 大 戦 に よ っ て 気 違 い じ め
 た 大 破 壊 と 大 消 費 を や っ て の け た。 其 の
 酬 い か は や 悪 性 イン フ レ と い う 形 で 我 々
 人 類 の 上 に 帰 っ て 来 て 止 ま る 所 を 知 ら な
 い 逆 猛 威 を 振 る っ て 居 る。 例 え ば 戦 前 一
 球 団 を 引 卒 し て 出 聖 致 し ま し て も 三 コ ン ト
 内 外 で 其 の あ ら ゆ る 経 費 を 賄 え ま し た が
 今 一 球 団 を サ ン パ ウ 口 に 遠 征 さ せ ろ う と
 す れ ば 少 く 見 積 っ て も 一 五 〇 〇 〇 〇 コ
 ン ト ス は か か り 積 っ て も 消 費 の 面 で 斯 様
 に 伸 び た 遠 征 費 も 支 出 の 面 で は かい せ れ
 と 樂 に 出 せ る 金 額 で は 決 し て な い。 野 球
 だ け で は あ り ま せ ン。 も ろ も ろ の 行 事 が
 斯 様 に 莫 大 な 経 費 を 要 す る 様 に な り ま し
 た。 そ の 金 額 を す べ て 寄 附 と い う 誠 に 便 利
 な 手 段 で 集 め よ う と す る 傾 向 が 濃 厚 の 様
 だ け で 寄 附 の 過 剰 で あ り 連 鎖 反 応 で 次 々
 と 爆 発 致 し ま す と 先 ず 我 々 の よ う な 貧 乏
 人 が 第 一 に そ の 放 射 能 を 深 く 身 に け ね
 は な り ま せ ン。 先 ず 私 は 近 頃 の バ ス ト ス
 の 寄 附 行 為 を ひ ろ い 上 げ て 見 ま し ろ う。
 入 植 記 念 日 の 寄 附 に は じ ま っ て 青 年 運
 動 へ の 寄 附。 4 H ク ラ ブ か ら シ ー ズ ン に
 入 っ て 青 少 年 の 野 球。 陸 上 競 技。 宗 教 関
 係。 こ れ を 又 内 訳 致 し ま す と 三 つ や 四 つ
 は あ り。 其 他 各 区 の 入 植 記 念 日。 そ れ に
 学 生 連 が 一 種 の 寄 附 行 為 と し て 押 し け
 ら れ る。 斯 く ひ ろ い 上 げ て 見 る と 十 指 出
 屋 し て 尚 足 ら ず。 我 々 百 姓 の 年 間 経 済 の
 重 大 な % を し め る も の で あ り ま す。
 寄 附 を 要 請 さ れ る 側 に は そ れ 相 当 な 理
 由 と 必 要 の あ る 事 を 私 は 否 定 す る も の で
 は あ り ま せ ン。 否 む し ろ 私 自 身 も 度 々 そ
 の 寄 付 を 頂 き に 参 上 し た 事 も あ り ま す の
 で。 ち ね る 申 上 げ に け ね ば な り ま せ ン。 其
 か と 申 上 げ た い の で あ り ま す。 た と え 半
 分 で も 四 分 の 一 で も 自 力 で 他 の 方 法 で 捻
 出 で き な い か と い う 事 で あ り ま す。
 便 利 で 簡 単 で 苦 勞 が な く 必 要 と す る 金
 銭 を 集 め 得 る 寄 附 行 為 は 成 る 程 上 極 端 法
 な も の で あ り ま す が。 出 す 者 え 一 庇 の 恩
 い や り と 誠 意 あ る 配 慮 を 今 一 度 松 っ て 賞
 い 度 い と 考 え る も の で あ り ま す。
 皆 様 も 御 承 知 の 事 と 思 い ま す が。 数 年 前
 当 時 の 日 本 人 会 で。 日 本 人 会 の 許 可 が な く
 し て 寄 附 行 為 を 許 さ な い。 と い う 条 項 が あ っ
 た。 よ う に 思 い ま す。 寄 附 行 為 に 日 本 会 が
 タ ッ チ し る の 不 可 と 決 定 す る と い う こ と
 自 体 が 越 権 の 行 為 で あ り ま す が。 そ の 当
 時 の お 偉 い 方 々 が 斯 く せ ね ば な ら な か っ

Bar e Sorveteria YAGUIURA



茶 頌 新 禧

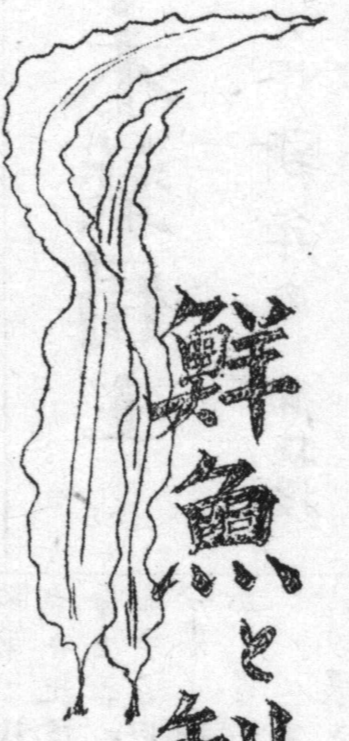
本年もどうぞごまろく
お氣い申し上げごりす

一九六二年元旦

やぎらうらイルモンス

シネマ館 上角

鮮魚と製氷



たよって来る所の原因は余りにも寄付行
 考えまます。たごうに外ならなかつた
 為が多かつた。たごうに外ならなかつた
 個人で出し区や組で集金され尚且つ所
 属組合で寄付をせしめられ行われるの
 フルプレがしはしは行われるのであり
 ます。経済的な地盤を確保し恒産を作り
 た人ならばいざ知らず私共の如き過
 のある貪婪人は知らず私共の如き過
 には全く閉口されるのでありか
 一応成立致し居るが社会として
 の恩恵を受けて居る我々が社会
 人の義務であると思ひます。再
 所はくといふよりも他の責任者に
 反省を願うより重なり慢性的な
 割当寄付行為の如き無礼な手
 平気で横行しうが如き無礼な手
 の男が病気に又血の陥る危険性
 るといふ風等に邪道に陥る危険性
 少額の故を以て又血の陥る危険性
 廻るの面を倒さぬが如き無礼な手
 不心得者の貰えぬが如き無礼な手

と恐れるものであります。幸いにし
 々バストス人は他はわかりませんが
 分だけ極物わりの良い文化人だと
 ひそかに誇って居りますので右の
 事柄は憂うに足りないので右のこ
 した長びはありませぬ。決して
 以上毒舌を申上げましたが、決して
 象があつて申上げたものではありませ
 週報社の系音老にあだて上げられ
 上げます。(一九六二年一月一日上田)

たよって来る所の原因は余りにも寄付行
 考えまます。たごうに外ならなかつた
 為が多かつた。たごうに外ならなかつた
 個人で出し区や組で集金され尚且つ所
 属組合で寄付をせしめられ行われるの
 フルプレがしはしは行われるのであり
 ます。経済的な地盤を確保し恒産を作り
 た人ならばいざ知らず私共の如き過
 のある貪婪人は知らず私共の如き過
 には全く閉口されるのでありか
 一応成立致し居るが社会として
 の恩恵を受けて居る我々が社会
 人の義務であると思ひます。再
 所はくといふよりも他の責任者に
 反省を願うより重なり慢性的な
 割当寄付行為の如き無礼な手
 平気で横行しうが如き無礼な手
 の男が病気に又血の陥る危険性
 るといふ風等に邪道に陥る危険性
 少額の故を以て又血の陥る危険性
 廻るの面を倒さぬが如き無礼な手
 不心得者の貰えぬが如き無礼な手

VULGANIZAÇÃO
 ATSUSHI YATABE

謹賀新年

一九六二年一月一日

ブネウ 並にゴム類

修理工場

谷田部 淳

Rua ADHEMAR DE BARROS BASTOS

FARMACIA BASTOS

お正月のみすぎたすぎ
御用心



R. Pres. Vargas

謹んで 新年の 御挨拶
申上げます
皆さま、よい年を迎えられま
しておめでとうございます。
一九六年 正月元日

佐々木薬局主

BAR HIRAFUJI



R. 10 de Novembro esq.

パール
平藤
パールと
ビリヤール

本年も旧に倍し
お引立て下さいます様
預い上げます

新年あめでとう
ございませす

1962年 1月 1日

漫談「蚊帳」

高橋 鏝 骨

冥土への終着駅も目睫に迫った様な感
 じのする昨今、新年が来たとして何も目出
 度くも嬉しくもない。しかし息炎で毎晩
 よく眠れずして三度の食事があいしく頂
 けるのだけは有難いと思ふ。細く長く
 云えるのは青年時代の事だ。大体先きが
 知れて太く短かくと出来ただけ面白く
 安らかに余生を送るのが得ではなからう
 か。謹厳居士の様な顔をして皆から敬遠
 されるより他人から親しまれる人の方が
 二つ云うてはバスタ親しまれる人の
 間にも随分面白くないが、私に知人の
 間にも藤原次郎さんなど、その代表的な
 人物で愛称荒さんといえは他州までその名が
 とろろき渡って来た。荒さんに逢えば
 顔を見ただけで笑いた。誘う様な人物であ
 った。残りの何月頃だったか、みんな
 ら名残りを惜しまれ乍らアラクワ線
 に移転されたが、その頃週報紙に発表さ
 れた彼氏独得のY談は糸音老の明快洒脱
 の筆と相俟って読者を笑わせた。彼氏が人
 々の記憶に新しい事だと思ふ。彼氏が文
 筆を弄ぶ人だ。たら恐らく日本の花形作
 家今東光和尚の向うを張ってコロニアの
 今東光的人物としてあさましているにち
 がい。

第一話
 蚊帳を吊る真似をして彼氏をサービス
 した夜鷹の生息を憎きまで描きして
 余す所のなかつた彼のY談は何といつて
 も読物中の白眉といつていいだろう。坂
 根総領事をして次々と話を促がされたこ
 とがうなすけるのである。これは一九六
 一年夏週報読物中の傑作だ。これと思ふ。
 蚊帳という加賀の千代女をして一人様
 な気がする。加賀の千代女をして一人様
 のわびしさささささささささささささ
 た。これから語ろうとする話も蚊帳であ
 った。日本の旧園中の旧園に属するが、私
 かまだ日本に居た時の事だから四十数年
 前の昔話である。
 隣の村に敬太さんという四十才からみの
 好色家が居た。高売は材木屋さんだ。た
 うと隣家の前を通りかかると、電燈をつ
 けたまま座敷の力やの中、只一人寝てい
 る妻女のあられも同じだと思ふ。夏日本
 の農村はこも同じだと思ふ。夏日本
 とは戸締りなどは殆んどない。蚊帳に
 んはしげらるるに釘かけにされた様に

CASA MAEYAMA

1 de Janeiro de 1962

謹賀新年

明けましておめでとう

はりますます

R. P. Vargas

本年も相変わらず旧年より以上の

はり立快いイキをお願います

正月元旦

雑貨なんでも屋

三所山商店

三山自子

じつと其の姿態を見守った。ふくよかな乳房が軽い軒きにつれて波のように動く。全裸に近い身体には僅かにまとった笠の紐の腰巻も外づれ、両脚ははだけて盛上った。O部のあたりまであらわである。敬太さんは目がくらんでもう自制も何もあつたものでない。やあら縁側に上り、もうつと蚊帳に手をかけずはやく中にすべりこんだ。これから先は私などの描写より、先刻御承知の今東光和尚の作品の描写から察して貰った方が実感が伴うであろうと思つて省くこととする。

敬太さんはしびれるようなクライマックスを感じたとき、女は動いた相である。それでも眠りから醒めやらす、勿論他人という事も意識せず、只幽かに「あんな今すんだばかりなのに、と云い乍ら又昏々と眠りつづけたという。この女が麻言の様に云つた一言で彼女の亭主がすでに夜の営みを交わしたことがうなずけた。し、亭主はそのあと直ぐ夜遊びにでも出かけたことが想像できるのであつた。

第二話

渡伯七年目の一九二九年の事だつた。私は最初の内は事業が最初の内はとてものとん拍子にいつて六年目にはフード車をギンア付きで売り出された貨車自働車をイの一番に購入し、運搬業に従事していた頃の事である。私の顧客でビリケ

イのバシツ子という伊太利人の珈琲園数十万本の請負契約を、多田大内梅野の三氏がコンパで引受け、そのコロニザツンを請負するのだが、とうしても付近だけで下請負の契約者が集らず満植にならないうので遠くモジ穴線あたりまで募集に行き契約した人々のムタンサを教回運びにバス、大抵の場合責任者の梅野氏へ後で今は故人が力ミニオンと一緒に出張するのが常であつた。その日も三台の自働車を連ねて道路も悪く、おまけに途中大雨に逢つたりして、リベロンフレツトに着いたのは夕景迫る頃だつた。

先ず日本人旅館に旅装を解き、ジャンタに一杯遊びに出ようといつて私を誘つては一寸遊びに出ようといつて私を誘つては三十分、それには日本人のアレが居るとうのにも興味をそそられて二人で宿を出た。ホテルから余り遠方でもない処に軒を並べた花街がある。

とある一軒の可成り上品に見える家の中へ梅野氏は私に目くはせし乍ら這入った。客らしく梅野氏はこれまで教回来たな

という女が出て来た。こうした社会にはうってつけの肉感的な太った、そして色白の女で、可成り酒もいけるらしく、忍ぢに、してビール九本を明け、更に彼女からウスキーを注文した。

一時間はかり経ったと思ふ頃梅野氏は、今回は責任が重大だから帰ると云い出した。鶴ちゃんも帰さないかと云つてきかない。こんな回答をして、内彼女が、エエ面倒だ、と、かり上着をかぶり捨てる。その豊満な乳房を梅野氏の顔に押しあて、梅野さん、あんたこれでも帰るの、と前をひらいて抱きついていた。これには流石の梅野氏も、よめいてしまひ、ウインとはかり悩殺されて動けない。しばらくして梅野氏は一寸とミトリオまで私を呼び出し、持っていた財布から若干つまみ出し、とを全部私に預かつてくれといつて渡した。そして私にと、あてがってくれたのは半黒の女だった。私はあつて、それと宿へ逃げて来た。梅野氏は、財布の金は三十コント位入つていたから、当時としては大金である。耕地に借金して契約者の中にも、今迄居た理の爲の準備金である。お鶴ちゃんに抱きつかれた時、これは容易ならぬと酔つては居ても梅野氏は責任感だけは忘れな

かつたようである。梅野氏は今は故人となり、当時日系として、は恐らく元祖であつたと思われ、女郎のお鶴ちゃん、の消息は絶えて知る由もない。(一九六一、十二月二十三日)

つまらぬお話

飛行機を盗れたら...

キューバとの間で飛行機強奪事件が続茶するの、いかに対処すべきかと航空会社が答案を募集した。珍案が集つた。

珍案A 救命用具の中にニセのカストロ、ひしを用意すること。もし飛行機がムリヤリにハバナに着陸させられた場合は、このカストロ、ひしをつけて、こっそり逃げればよい。

珍案B 飛行機に電気仕掛のホルマキをつけ、れはよい。暴漢が操縦室に入ろうとした時、ホルマキ一つ押せば、自動的に外にはじき出されてしまふ。

珍案C 一等客はスペイン語の辞書を携帯して、いふこと、キューバに居る間役に立つから。

なんてのもある。アメリカ市民いささか、キューバノイロ、と、気味の由。(キリヌキ生)

COOP. AVICOLA DE BASTOS

謹賀新年

一九六二年一月一日

バストス

養鶏組合

バストス市
ルア バロン ド リオ フランコ 431

電話 三十四

郵 函 六十七

CASA UKITA

明けましておめでとう
ございませ

旧年中も

御引立あうがとうございませした
今年もどうかよろしく

願いとげます

一九六二年一月元日

プロビミ社出張員

揚系有米吉

Umekite Yukara

賀 正

御高堂皆々様の御社業を御祈りしまして旧年中の御引立てを厚く御礼申上げます

本年もより以上

- 一 誠実を旨とし
- 一 良品を廉価に
- 一 現金仕入をして

少しでも皆々様の御役に立ったらと念願して居りますから何卒相変らざるの御支援伏して御願ひ申上げます

ポイント前

カーザ浮田

店員 同

お正月
ビール



BAR MINAGUTI

1962年

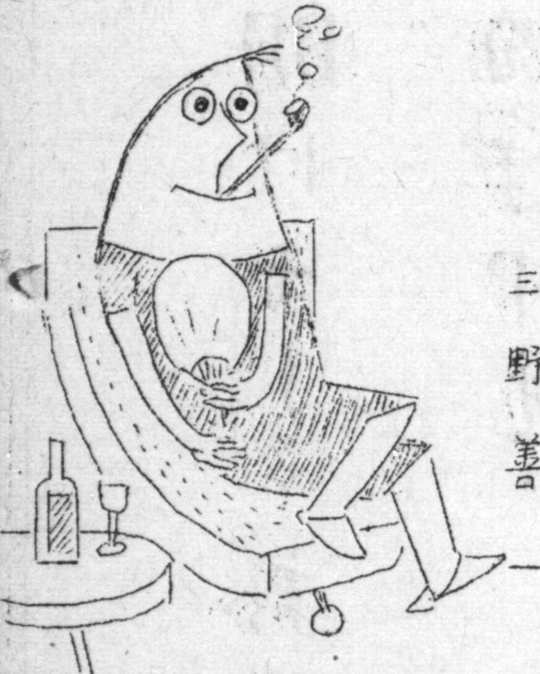
バル木口

ドッキデカシアス街
ホント筋 向

明けまして
おめでとうございます

本年も相かわりませず
賑々しくお楽しみ
さるよう御ねがいや
し上げます 一月元日

CONFEITARIA SÃO PAULO



三野菓子店

三野善吉

新年おめでとう
ございます

昨年中は大そう仲ひ
いになりました

本年も倍旧御引立賜わ
りますよう願上げます

一九六二年正月元日
ホント角

歌会報

十二月十日宮武勝甫氏居に於て忘年歌
会並に坂東啓二氏六十二年度パ紙文学賞
佳作入送祝賀を兼ね百三十三回目的歌会
を催した。左に一人一首を。

いくばくの未来につづく夢もちて 汚れし作服の服まどふ朝	始めての吾娘の受験を案じつつ 髪のリボンをもすびやる今朝	酔いそ神を否定する君つつまりは 人への不信とおもひつつ聞く	いつかみなわか手離るる札なるも 傷みしを還り使はむとする	己にも見舞ふ死の灰降らしつぐ 米ソは天に 唾するごとく	樹々の葉は匂ふばかりの夏にして た易く疲勞すビタミン不足か	屋根を打つアバカテ落実の音 もの想ふ夜を風の吹き過ぐ	疲れいる如き横顔 白々と 螢 光燈のもとに 寂しき	煩はしき事のみ多きこの年の 反古焼きにつく強く生きむと	漁者の香のほのかな中に吾娘とわれ 競ふが如く寿司を巻きをり	久々に鉄を握りて 小半 畑の仕事にうまさ 生水	真夜の星一つ見つめて怯え行つ 暗示冷たく 吾れに 迫れば	友と在る造花作りの樂しさをよ その出未栄えは個々に返へど	眠酌の史は吾れにも注がくるる ビールの苦さ我慢して飲む	雨あとの庭のヌリアは重々と 重垂らせり漆木 欵しげに	初舞台踏む吾娘よりも見るわが 胸とさめかす 首尾よく 踊れど	溜さ物に黄の葉とも散る花弁 シューバデオーロを惜みつつ掃く
忠雄	まりえ	扶美	菊子	美津雄	孤舟	勝南	啓二	はやし	千代子	北眠	勤一	ふじ	敏子	まさ江	千鶴子	とく江

Olaria Tamiguti Irmãos

謹賀新年

本年もよろしく願上げます
一九六二年一月一日

リノホリス市

谷ロレンガ工場

郵便 九五
電話 二六

BAZAR POMBO

謹賀新年

本年もよろしく御引下さい
一九六二年一月一日

バザールポンボ

守越商店

R. ADHEMAR DE BARROS 175

- 小間物
- 文房具
- 化粧品
- 日本製ネクタイ
- ジスコ
- 自動車
- 三輪車
- 雑誌
- ラジオ
- 冷蔵庫



CASA TARODA

太郎田商店

アデマールデバロス街

一九六二年一月一日

加勢正

とうそ本年も倍旧御愛顧の
程願上ります

電話 一六
郵函 五一

Padaria Bastos

de TSUNAKAZU SHIRAZAWA

パダリア バストス

白沢ポン製造所

Rua Pres. Vargas 426 Bastos C.P

謹賀新年

昨年中は大層御世話になり
ました
本年も相身うすよろしく
お願いいたします
一月一日

食欲をます香辛料

夏まけ、暑い時は食欲が減退する。脂肪のとり方が減るのでカロリ不足となり、ビタミンB1、C、Aなどが不足する。身体がだるくなる。夏まけの原因である。食欲のすすめが、一番大事だ。食事は調理に注意して、冷たい淡白なものにする。のどを通りやすくする。力があるから大いに使うことだ。和風の料理ならワサビ、カラシ、ショウガ、サンショウなど、洋風ならコショウ、カレーなど。これらは香料は薬としても古来珍重されたものである。コショウやチョウジは東洋産が圧倒的である。それを西政に運ぶたの往年のイスパニア、ホルトガルは東洋航路の南拓に力を注いだわけだが、すべて消化機能に關した薬効が認められている。健胃薬だが、サンショウには回虫駆除(漢方)といふおまけがうく。ショウガトガヲシ、ワサビなどは食欲増進と腸内防腐性をかかっている。成分は利胆薬として応用されている。薬味といふことは、が意味あり

ESCRITÓRIO BASTOS DE CONTABILIDADE

CADASTRO Nº 2035 C.R.C - S.P.

Rua Pres. Vargas Nº 277 Bastos



一九六二年一月元日

バストス商工会計事務所

西島本 徹昇

商工業簿記 並に 手続き一切
 諸願書作成
 乗車手続一切
 保険部

生命 火災 傷害
 自働車 積荷運搬

OFICINA CRUZEIRO DO SUL

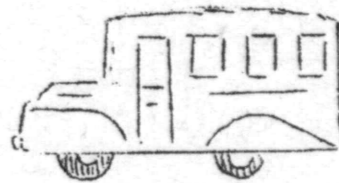
de JIRO TANIGUTI

謹賀新年

1 - JANEIRO - 1962

オフィスーナ

谷口次郎



C.P 206

ルアドッキデカシヤス

けに思い出されるではないか。
 最近食欲増進剤としてカルニチンの如
 く注目されていいる薬はあるが、香料の如
 くこれらの生薬がれっさとした食欲増進
 健胃などの効能を昔から買われていたわ
 けてある。味気だし、あまり薬くさい存在に
 考へると味気がなくなる(宮木恒士氏)

若い人もご用心
 ガンの話

ガンの話
 四十以下でもまれには三十才以下で
 もみられるから安心できない。
 胃腸ガンである。肝臓、乳がん、外腸
 直接外部から見ることもできるから、
 的は外部に発見されやすい。これに反し
 て身体内部の肝臓のガンは発見が
 だ(六行目の肝臓のガンは肺ガンを加え
 ガンの次に、乳がん、甲狀腺
 ガンの直接外部から見られる。乳がん、
 ガンの早期発見には各々の人がガンの
 初期状態をよく知って、いることが何より
 大切だ。
 胃腸ガンの初期には食欲が退し、よく肉
 や油こいもの、初期には食欲が退し、よく肉

FARMACIA CENTRAL

珍妙絨春密
藥藥藥藥藥

西川藥局

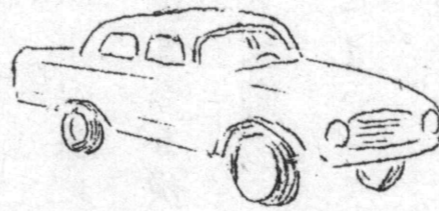
ホント北向

おけましてめでたうござい
ます相かわりませず……

一九六二年二月五日

おめでとう

OFICINA MECANICA PAULISTA



尚本年もよろしく御願
い申上げます

謹賀新年

一九六二年元朝

能見鉄工所

能見利八

Rua Adhemar de Barros Bastos

な酒が張つてくると胃潰瘍のような激しい
オチが張つてくると胃潰瘍のような激しい
胃の痛みが起ることは少く多くの場合
胃の痛みが全くないことに注意
も一応精密検査を受けるのがよい
胃液レントゲン検査で診断するのが普通
直腸ガンは肛門に近い部位にできるか
ら診断が比較的容易なのに早期発見が
くれるのは患者が医師を訪れるのが
そすぎるからであるこれは羞恥心と痔
ひとりぎのにしていることも一つの原
だ。この初期の症状は排便時の不快感
排便の困難、血便などで痛みは余り
ことに注意、これらの症状が起った
精密検査を受けること、胃ガンよりも
単に診断できる
若い人のガンは高令者に比べて進行が
速いことが多いから早期発見がきわめ
て重要、ガンは医者が治すのではなく
て自分自身がおすもの、すなわち根本
治療は早期に気付く以外にないことを銘
記すべきだ。(名尾匠松、ガンの話より)

胃潰瘍に柿渋IIバスター日本庄主人談
によると彼氏のイカイヨウロ自家製の柿シブでカ
ンセンに全治したとのこと、新しいトリタテの柿渋
便紙を起すから中古(毎月経通)がよろしい

Mobiliaria Fukumori

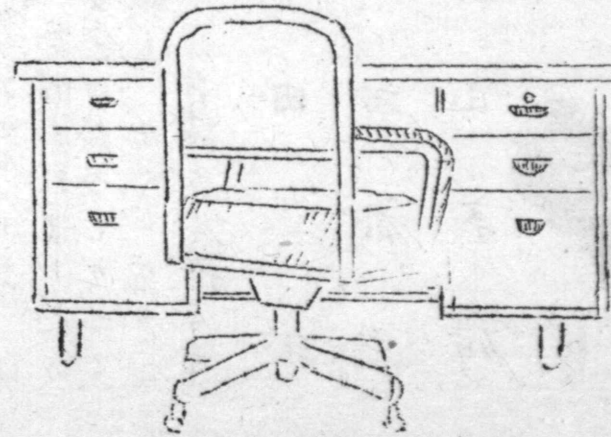
福森家具店

賀正

一九六二年
一月一日

旧年中は大層引立いただきました。又本年も旧に倍し御愛顧願ひ申上げます

シネマカン上



御挨拶

このたび家事の都合にて住み馴れた
 バストスを後にして聖市より五十一
 キロ米の地点ツットラ街道ジャカレ
 一市郊外に移転することになりました
 た。省みれば最初カスカツタ区に入
 植しましたのは三十一年前のことで
 後第二エスペランサに移ってからで
 も二十数年になります。この長い間
 皆様とは御懇意にして頂き御世話に
 なるばかりで何一つ御救恩する事も
 ありませんでした。御存知の通り第ニ
 エスペランサは住家が少くなり農營
 にも種々不便を感じますので止むを
 得ず遠隔の地に参ることになりました
 たが実はバストス墓地の納骨堂にけ
 肉親四体の遺骨をお預けしてありま
 すので眞実の故郷でございます。又
 時々は墓参にまいらせて頂きます。
 何卒皆様に於かれましては御健在で
 幸福にお暮しなさいます様祈願いた
 しまして御挨拶といたします。
 一九六一年十二月二十八日

虎 岩 頼 寿
 全 頼 満
 家 族 一 同

各位様

診察を子ンサツ読む人がありました
 奥州をオクシウと読む人がありました
 文盲をブンモウと読む人がありました
 撞懐をドウケイと読む人がありました
 録者をリヨクオンとよむ人がありました

和歌山県出身各位 に急告!

会合日変更 御通知
 前号一月六日(土)とあるは誤り
 一月七日(日)と訂正いたします。

私たちの県人会の会合が長らく中絶し
 て居りましたが戦後和歌山人が当地へ
 も入植されましたがゆいで
 今回会合の機が熟しまして久しぶりに
 県人の方々と膝を交え、故郷の話や又
 今後の会の運営などについて、ゆっく
 り、ご相談しようではないかという段
 取りがでさ上りました。
 皆さん万障御繰合せの上、最近渡伯さ
 れました方をも御誘い下さって賑々し
 く御出席になりますよう、今後日本内
 地より訪伯される名士の方々との連絡
 の都合もありますので、是非おいで下
 さるよう御案内申し上げます。

尚左記期日会合の帰途の時間が少々違
 ねましても発起人の計らいで御宅迄お
 送りするよう準備致します故、その点
 御含み下さい。
 尚準備の都合がありますので会合の前
 日迄に市内前山商店迄御通知下さい。
 期日 一月七日(日) 午後七時より
 場所 榎ホテル
 会費 二百クルセーロス也
 追伸 ベビータ(ガラナセルベージャ)は
 各有志より寄附されましたの
 で、新年宴会のおつもりにて
 大いに鯨飲し、かくし芸をご
 披露下さい。お待ちと居ります

発起人 本田 正 雄

上 西 恭 治
 前 山 義 雄

各位

IRMÃOS SHIDA LTDA.

シネバストス

電話四十四

トランスポルテ

バストスーサンパウロ

謹賀新年

各位の御繁栄を祈上げます

一九六二年一月元日

信友兄弟高会

アベニータガスパールリカルド 七四九

電話 一三

郵便 七

御礼

去る十二月十七日及び十八日の両日「水戸黄門」のシネマ上映を致しましたところ、私共の主旨にごんせい下され、賑々しく御来場いいただきましたことを厚く御礼申し上げます。

御かけを以ちまして予期の成果を挙げ得ましたので、利益金は左の通り社会事業に寄付いたしました故御承知下さいませ。

- 一金 十 コント也 在聖市バストス学生会へ
- 一金 五 コント也 聖母婦人会ナタール慈善贈物用として
- 一金 三 コント也 サンパウロ救済会へ

十二月二十日

バストス婦人会

各位

3
2

COOP. AGRICOLA de
BASTOS

産業組合

バ
ス
ト
ス

謹賀新年

各位の万福を祈る
一九六一年正月元朝

Rua 10 de Novembro
C. Postal 42
Fone 10

3
2

RELOJOARIA
TAKATA



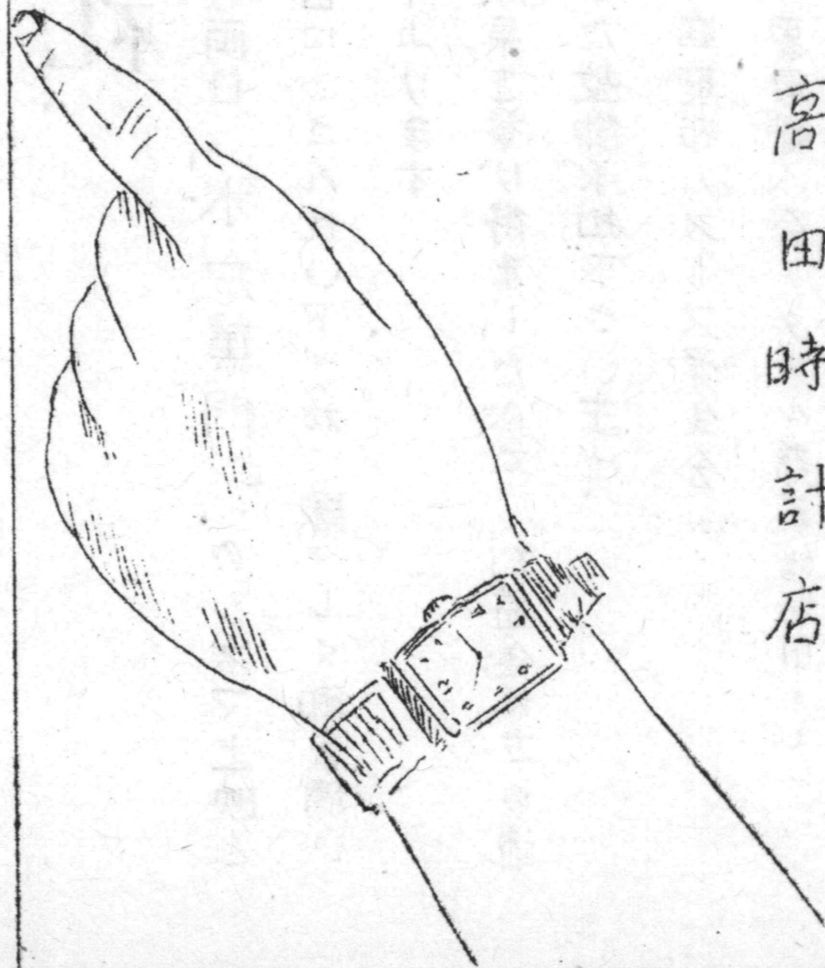
きんがしんねん

旧年中は大そう作引立いただきありがとうございました。たく作礼申上げます。本年も旧に倍し御愛顧の程願上ゆきます。

一九六二年一月一日

ポント前

高田時計店



3 3

Coop. AGRICULTURISTA GRANJA BASTOS

FELIS ANO NOVO

1 DE JANEIRO DE 1962

گرانجیا

باستوس組合

ゼネラルオゾリーヨ街七七四

電話 一二二

郵函 一二五

謹賀新年

一九六二年一月一日

گرانجیا باستوس

گرانجیا出張所

گرانجیا都アズニダW4

ロージヤ 859

ブロッコ 3

聖盲女物語 (1)

OS子

聖市テアトロムニシパールでは、その夜
文理科大学の卒業式が行われていた。一
千数百の座席は、ぎっしりと人で埋まり、那
人の顔もちらほら見えていた。
八時半、大学総長の挨拶、国家斉唱、卒
業生代表の挨拶がすむと、司会者が卒業生
の名を呼び上げたが、第一番に呼ばれた
名は思ひがけもない邦人の名であった。
「クララ・タスコ・ナガハシ」
満場は一瞬水をうったように静まり、や
がて舞台の後方の卒業生控所から中背の
日系一女性が、白人女性に手を引かれて舞
台正面にあらわれた。彼女が盲女である
ことがわかる。とつと声なきよめめさ
が波のように場内にひろがった。嘆息に
似たささやきかもれてくるのは多分彼女
が日系で、しかも目の不自由なことの噂で
もしているのであろう。
この日十二月十四日は、聖市アクリマソ
ン区にあるセーデス・サピエンシア文理科
大学の卒業式がアツソン・デ・クラサバジ
ーリア・ド・カルモ寺院で行われ、引つづき
夜のフォルマツラで卒業式は父兄や友人につ
きそわれ、衆人から祝福の言葉をなげかけ

られていたのである。
この文理科は女子大学で、九課目に分れ
「クララ・タスコ」さん、口哲学と神学を専
攻した学生の一人で、本年の卒業生は百
二十名、その中に日系が二人まじっている。
「クララ・タスコ」さんが証書をもち、ふ
り向いた時、期せましく拍手の嵐がまき
起った。彼女は少し上気した顔をあげ、
声のする方へ軽く会釈したのち再び手を
引かれて自席へ戻っていった。
招待席には彼女の母や兄弟たちが感激
に眼をうるませ、じつと舞台を見つめて
いた。卒業生の式服はアカデミックな学
士服で、これに角帽をいた、ただいた姿は古典
美的極致とていおうか。
彼女にとつては今日こそは生涯の輝ける
日であった。に相違ない。この日を目標に
長い苦難をわき目もふらず突進したこと
であつた。だろ、
彼女、それはバストスの吾々の友人と
して毎日顔を合せている長橋君、スール
アラジール倉庫主任の妹さんであつた。
クララ・タスコさんは目の見えぬ不自
由と戦つて、遂に十五年の学業を修了し
文理科でも最も難科といわれる哲学神学
を、而も一位で通過し、新学位を獲得したこ
とは、単にコロニヤ人として、嚆矢である
ばかりでなく、恐らくアラジールに於ても
三十八頁につづく

パールズ

島本美容院

島本文子

Aviso

とても、すばらしく、美しくなる
化粧品が入荷いたしました。

美しい上にも
美しくなりたい
のが人情です
ぜひおためし
下さい



どの位美しいお顔になるか、実験し
てお目にかけますから……
どなたでもおいで下さい

無料で実験いたします。

ご遠慮なくお越し下さい……

ホントより三ヶ人目

明けましておめで度うござい
ます

尚本年もよろしく願います

一九六二年正月元日

バストス市ドッキデカシヤス街

公認 マッサージスタ

島本藤吉

おねがい

去る十二月二十日夜、シヤーカーラ
区より町へ出た際、パイロット万年筆
を落しました。名前が刻込んであり
ます。週報社又は私方へお届け下さ
れば、薄謝を呈します。

シヤーカーラ区

木林 勝 敏

BANCO AMERICA DO SUL SA.
 BASTOS

謹 啓 新 年

一九六二年一月元旦



株式会社

南米銀行バストス支店

Boas Festas e um Ano Novo muito feliz!

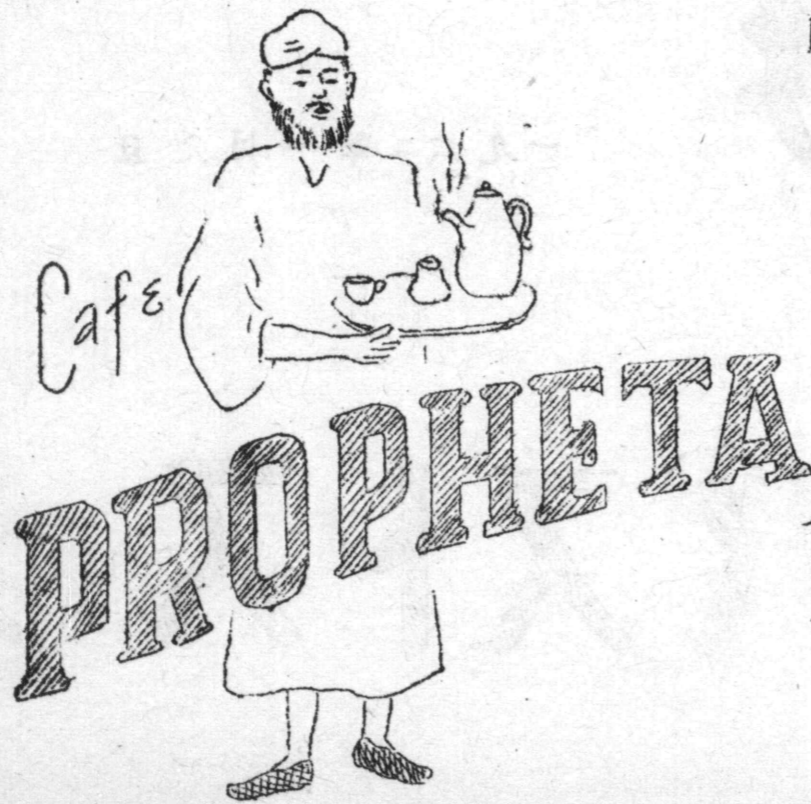
1961-1962

CAFE PROPHETA LTDA AV. IPIRANGA N. 245 - MARILIA

新年おめでとうございます 本年はおいしい カフェ プロフェッタ を沢山召上って下さい

バスタードス持約店

前山 三重 太次郎 梶田 商店 商店 商店 商店 商店



味もかおりも 世界一

例がないのではなからうか。ヘレンケラー女史は盲聾の三重苦の中から学者として立ち上り世界の奇蹟として人々を驚嘆させたが、このケラー女史に比すればクララウタツ子さんは不幸の内でも耳がきこえ口がきけるだけ幸であった。点字譜をまさぐり乍ら常人未踏の境地を開拓したことは正に驚くべき精進といわねばならぬ。

落雷、少年の命を奪う

瞬時の悪夢

去る十二月十九日午後六時頃豪雨の最中落雷のため命を失った気の毒な少年があった。ウニオン区三組炭住一美さん方ではその時家族揃ってジャンターをまわっていた。一瞬目のくらむ電光と共に耳も、さけんばかりの雷鳴に一同思わぬ、メモキヨウカつぶす者、ひっくりかえるものアビキヨウカアの真上に落雷したものと、恐る恐る顔

上げて見ると、奥さんの外、数人の子供たちも皆死んだように倒れたままである。天井も家根裏にも異情はなかつた。一人々々大丈夫かとお声によぶと、ようやく無事と判明したが、末弟の七男くん一人はなれてアゴンの側に倒れ、すでに絶命している。長男昇一君は口がしびれて祭声困難となつてゐる。そこで隣家に知らせ病院の木村先生を呼ぶことにした。豪雨のため本道(豆道)の橋が流失して車が通らない。ヤットランシャリア道を通って七男くん(7)は即死、長男昇一君は感電はした。幸いに助つた。さく所によると落雷は所々同家から七米はなれた新養蚕小屋で落雷と同時に発火し豪雨の中で全焼した。落雷は同家の間に張つた電線をつたわり、電線の一處に張つた七男君が犠牲となつた。のうし、同家の荒井氏方、五百米もはなれた京野氏方でも落雷と同時に、その辺が火柱の焰のように見えた。そのうち、京野氏は「あんなとえらい雷見たことがない」といって相像される。この落雷はかりは防ぎようがない。毎年バスタード内だけでも数回落雷があるが、炭谷七男君のように雷死するとなると、何とか方法を考えねばなるまい。

RESTAURANTE RODOVIARIO

SOITI USSAMI

宇佐美食堂

バス
ロードビアリオ

一九六二年一月元日
本店の程願上ます

賀正

ホ
ン
フ
イ
ン
区

西
迫
信
秀

謹
賀
新
年

一九六二年一月一日

SEDAS HASHIMOTO

DESEJAM A TODOS UM PRÓSPERO ANO NOVO

1 de JANEIRO de 1962

橋
本
蚕
糸

謹
賀
新
年

各位の萬福を祈る

一九六二年一月元旦

製 蚕
糸 種 部

電話 十四 及び 十五

Seccão FIACÃO
RUA Pres. Vargas

RUA G. OSÓRIO 1006
BASTOS

SACARIA FUJIWARA

藤
原
豆

謹
賀
新
年

尚本年もよろしく御ねが
い申上げます

一九六二年一月元日

空
袋
卸
小
賣

新
旧
サ
ツ
コ

賣
買

修
繕

RUA PRES. VARGAS Nº 487

御 礼

去る十二月十九日夕方大雨中小生方
 養蚕室に落雷有之、母家に於ては感
 電死傷者を出す騒ぎの中に養蚕室は
 猛火に包まれ全焼のやむなきに到り
 ました。
 右事情に御同情の上御見舞を賜わり
 ました左の方々にあつく御礼申し上
 げます

一九六一年十二月二十三日

ウニオンズ区

炭 谷 一 美

- フラタク製糸株式会社様
- ボソン 奥山忠治様
- 〃 菅 強 様
- 〃 喜野輝治様
- 〃 貝岐保雄様
- ウニオンズ 岩原鈴市様
- 〃 中原寅一様
- 〃 溝越平八郎様
- 〃 岩橋満雄様
- 〃 坪井均政様
- 〃 入江均政様
- 〃 上田均政様
- 〃 橋本岩雄様
- 〃 川上忠威様
- 〃 早川忠威様
- 〃 繁 川上忠威様
- アルト 青年団様
- ウニオンズ区 男女青年団様

雷公大荒れ

去る十二月十九日のカミナリサマはウ
 ニオンズ区で炭谷家に少からぬ被害を与
 えたばかりかエスペランサー区では森元
 武雄氏のバストで大あはれ夕方乳をし
 ほるために親牛をに入れておく道込みにお
 つちて、柵中に居た五頭の牛を驚し
 しまつたといふ。
 百城の大地主何百頭の牛大盡がからが
 くともする森元さんではないがカミナ
 リにやられては訴えるときもなからう
 ジシンカミナリといふのが全くカミナリ
 の向う見ずにも困ったものである。

死亡通知並に

会葬御礼

去る十二月十九日午後六時頃一家夕
 食の卓について居りました際、突如
 落雷有之、七男ななか七男(七才)感電
 いたし即死致しました。一瞬の出来
 事にて不慮の災禍でありました。
 翌二十日午後五時出棺バストス墓地
 に埋葬いたしました。御交誼を賜り
 ます各位へ御知らせ申上げます。
 追って葬儀の節は折悪しく荒天中に
 も拘らず遠路わざわざ御会葬下さい
 ました上、御丁寧な花輪、御香料な
 ど御供え頂きまして誠にありがたく
 厚く御礼申上げます。
 一々拜趨御挨拶いたすべきでござい
 ます。が何分取込中のこととて御寛恕
 に甘え累儀紙上を以て御礼申述べさ
 せていただきます。

一九六一年十二月二十二日

ウニオンズ区三組

- 父 炭 住 一 美
- 母 〃 〃 一 美
- 長男 昇 一 美
- 外家族 一同
- 祖母 炭 谷 一 美
- (在バラカアス)
- 親戚 橋 本 岩 雄
- 岡 本 清
- 友人 京 野 万 治 郎
- 池 田 佐 次 郎
- 板 垣 達 志
- 島 崎 勝 巳

各 位

OFICINA MECÂNICA

de NORIYASU KAKIMOTO

RU DUQUE de CAXIAS, 529 C. POSTAL, 31 BASTOS

謹賀新年 一九六二年一月一日

何卒本年もよろしく御引立願上げます

オアシーナ 垣本憲保

FÁBRICA DE MÓVEIS

TATSUMI YAEGASHI C. POSTAL, 116

賀正 本年も倍旧御引立願上げます

1-1-1962

八重樫家具店

FÁBRICA: RUA 10 DE NOVENBRO, 336

LOJA: RUA PRES. VARGAS, 259 e 263

BASTOS

御案内

親鸞聖人七百回大遠忌法要 左の通り厳修

場所 バストス産業会館

一月七日(日)

本派本願寺市野甫教長外十一名南教師御出動

正午十二時開始 バストス墓地 墓参

午後一時 親鸞聖人七百回大遠忌法要

午後三時 先亡開拓者追悼法要

午後七時 シネマの夕

題名「誓い新たに」

東京都本派本願寺大遠忌法要実字 外色々
総天然色の美しい実字 巾一丈の柄仕充分です

本派本願寺南米教団大法要

バストス執行委員長

石橋長見

各位

40
Sociedade de Pesca Taiyo Ltda.

手繰船、鰯船、乗組員（二十才以上三十五才迄）
フラジル生れの日系、又は伯国へ帰化している人
月給は固定給歩合共食付きにて初めは二十コント位
海に馴れない人でも一航海すれば充分馴れます
船は我が家、海は男の働き場。

謹賀新年

一九六二年元旦

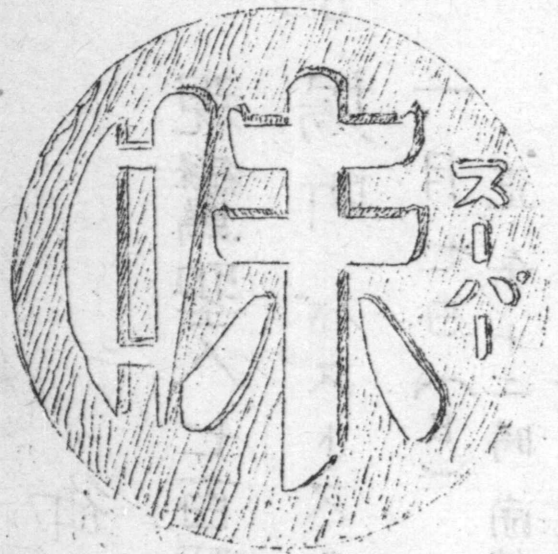
大洋漁業

サントス市オタビオ・コレイカ街一二五（カナル六）
電話 四一六六四六、四一六一七九

Tempêro de Alta Qualidade

Reg. S. P. A. P. Nº 25338 São Paulo

SUPERAGI



明けまして
おめでと〜うございませ

一九六二年一月一日

元元 株式会社 遠藤商会

聖市 コンデドピニアル街九八

スーパ味に懸す

調味料の王 元朝の卓にあり
スーパ味こぼしてメーザ初笑い
年玉のネクターに添えスーパージ

系音

一九六二年の運試し！ソルテはどなた様の手に？？？

三日及四日両日とも、御入場のお客様に番号入ヌメラード入場券を差上げますから、最後まで札を失わぬよう御ねがい致します。中入の時ヌメラードのトツコにより舞台に於て公平にクジ引をして皆様御手許の札と番号の合ったお方、一等より十等まで景品を差上げます。どうぞ大入、札止となりますよう、お出かけ下さい。招待券の方は入口で番号札とトロツカいたします。

光石タケノ

舞台は左の

プログラム

により進行いたします……

- 1 三番さんぱん 叟そう 尾上菊若
- 2 バレー 白鳥の死 尾上菊助
- 3 チャツキリ節 尾上菊昇
- 4 新作バレー 黄色い梯きんらん坊 菊助と菊二

一月三日・四日

夜八時開幕

尾上菊昇一行

伯光團

来る

- 5 新作 男の舞台 尾上菊若
- 6 テキサスから来た男 菊助 菊二 菊三
- 7 旧劇「怪談ひよく塚」 三幕
中入（幸運のクジ引）
- 8 長唄 近江のお兼 菊若 菊助 菊二

以上のように盛沢山のプログラムでございませう故、時間の制限で、御賞めのアンコールをいただきましても、くりかえし出演いたしかねます。何卒あしからず、御容赦下さいませよう願ひいたします。

○只今学生の方が「前券」をおねがいに参って居ります。お正月のおたのしみに、お求め下さいませ。

久方ぶりの御見得 伯光團 敬白

○十二月廿九日(金)夜八時 三十日(土)九時半 *De quem foi a denuncia*
 東宝スコップ 密告者は誰か 夏木陽介 橋山道八
 犯人はあと五発の凶弾をもっている...

○十二月三十一日(日)九時半 一月一日(月)夜八時
 松竹スコップ 武者修行 あんみつ姫 鯨洲晴子

○一月二日(火)午後二時・夜七時半・夜九時半 三回上映
 東宝ニュース第一〇三号 同時上映 *O magico do Diabro*

東映スコップ 俺が地獄の手品師だ
 片岡千恵蔵 江原真二郎
 鶴田浩二 高倉健
 久保菜穂子 中村賀津雄 山東昭子

○午後二時 ○七時半 ○九時半 三回上映

○一月三日と四日 夜八時開幕

伯光団のお芝居

入場券の番号によって幸運のクジ
 一等より十等迄あたる運だめ!

新制作バレー寸劇、長唄踊など 盛り沢山の芝居
 ご家族づれで早くとおいで下さい

○一月五日(金)八時 六日(土)九時半 @ *Amoravel Bar de Sagar-dan*

東宝スコップ 天然色 サザエさんの脱線奥様
 江利チエミ 小泉博
 藤原釜足 清川虹子
 雪村わかみ 室田明

サザエさんシリーズカセ作
 いよいよめでたいよきまれのチエミの至芸!

Aviso de Cine Bastos

謹賀新年

一九六二年一月一日

株式会社 プロウイニ

ブラジール

PROVIMI DO BRASIL S.A.



CUMPRIMENTA DESEJANDO BOAS FESTAS E FELIZ ANO NOVO

本年もプロウイニを
 使用して一そり成績を
 ああけ下さい...

アビーズ (電気会社)

電燈料支払受付時間
左記の通り御承知下さい

平日 午前八時より十一時まで

午後一時より五時まで

土曜日 午前八時より十二時まで

支拂日は

毎月一日から五日迄の間に

前記時間中において下さい

AVISO de PAGAMENTO de ENERGIA ELETRICA DE 1 à 5 de Cada mês. EXPEDIENTE SÁBADO: das 8 às 12 Hs. DIAS ÚTEIS: das 8 às 11 e das 13 às 17 HRS. E. E. V. P.

Reloaria Confianca

T. NAKAMURA

TUPA

加賀 正

一九六二年一月元日

昨年中は大変引立をいた
だき有難くお礼申し上げます
どうぞ本年も末手も末々く
御座願下さいますようお願い
申し上げます

ツパン市においでの際は
をお求め下さるおとも気安
うけまより御休息下さい
ツパン市アベニータタモヨ

中村時計店

中村 字 街

ESCOLA CORTE E COSTURA NIPPO-BRASILEIRA

明けまして 御目出度うご
やいます

一九六二年一月一日

日伯裁縫学校

Bastos

ルア・ステレオ マツシヤード

校長 亀田百子

昨年開校当時は「インテルナシヨ
ナル」校と申して居りました
が今回上記のように改名公認
登録されましたので、石おし
らせいたします

新学 期 生徒募集

来る二月一日より新学期を開始
いたします。親切丁寧な初心者
をお教えます

亀田百子

墓地美化資金寄附芳名

金五百クルセルス也 松崎貞則様
金五百クルセルス也 佐竹万四郎様
金一千クルセルス也 虎岩頼寿様
金五百クルセルス也 佐藤かおる様
世話人 霜出 杉山 二回目

御 礼

わたくしたち、こんどエスタドアル
のジナジオ 4ねんせいになりました
た、だんせいが、エスタルソンのひ
ようを、つくるために、しゅうほう
の、しんねんごうの、こうこくを、
みなさんに、おねがいに、あがりま
したところ、アジュイタしてくださ
ましてありがとうございます

ジナジオ・エスタドアル

男生 四ねん生一同

商社主各位

御礼

一九六一年度卒業式に当り、一位より三位までの成績を得ました私達に
 草分会の方々から「ゴホウビ」をいただきました。紙上であつく御礼申述
 べます。

〇州立バスストス中学校 四年卒業生

- 1位 エステルとみえ 佐田 居
- 2位 きょう子 浅田
- 3位 アントニオ敏雄 田

〇ジナジオサンジョセ校

- A組一年
 - 1 ルイス忠宏 栖原
 - 2 アテマル誠治 信
 - 3 パウロ信之 渡
- B組一年
 - 1 リンダなあみ 福
 - 2 ナタリナ綾子 溝
 - 3 クララ千恵子 友

- 二年
 - 1 宇一 郎 馬
 - 2 マリア教子 友
 - 3 秀和 谷

- 三年
 - 1 ワシントン正治 前
 - 2 ルイス清 西
 - 3 のり子 真

- 四年
 - 1 勝雄 馬
 - 2 クリスチーナあづみ 庭
 - 3 たけし 橋

- 一年
 - 1 ひろし 山
 - 2 フランシスコセザリオオ 山
 - 3 ニバルドカ 庭

- 二年
 - 1 きよ子 荒
 - 2 みよ子 竹
 - 3 ひろ子 小

- 三年
 - 1 ニルデッタ 浮
 - 2 カルシ 浮
 - 3 ひろ子 小

- 四年
 - 1 のぶ子 大
 - 2 敬治 倉
 - 3 ミエカ 浅

- 商業部 一年
 - 1 さち子 岸
 - 2 よし子 佐
 - 3 五郎 森

- 商業部 二年
 - 1 みつ江 河
 - 2 五郎 岩
 - 3 五郎 岩

- 商業部 三年
 - 1 磯雄 岡
 - 2 磯雄 岡
 - 3 磯雄 岡

- サンバウロ 裁縫校
 - 1 みえ子 松
 - 2 かつ子 若
 - 3 かず子 平

〇グルッポエスコラール「アギアデアイアレ」

- 男子四年 A
 - 1 ジョゼカルロス誠一 崎
 - 2 エリオ 高
 - 3 マリオ昇 中
- 女子四年 B
 - 1 ドロツナ久江 前
 - 2 セシリア静江 小
 - 3 ネリツタ光子 虎
- 男子四年 C
 - 1 カロスアルベルト 三
 - 2 パウロ清 渡
 - 3 ゆきののり 河
- 女子四年 D
 - 1 エレナ女子 浅
 - 2 イザベルがづ子 田
 - 3 ニルデヤキ江 川

バスストス草分会の皆様

- 吉浦 秀三 郎 様
- 吉田 静三 郎 様
- 西原 朝一 郎 様
- 矢野 久朝 郎 様
- 桑野 耕一 郎 様
- 若野 一智 郎 様
- 長田 一智 郎 様
- 本橋 一智 郎 様
- 川辺 一智 郎 様
- 山崎 一智 郎 様
- 佐藤 一智 郎 様
- 味野 一智 郎 様
- 石野 一智 郎 様
- 藤田 一智 郎 様
- 坂田 一智 郎 様
- 中野 一智 郎 様
- 畑山 一智 郎 様
- 上野 一智 郎 様
- 本島 一智 郎 様
- 古賀 一智 郎 様
- 伊賀 一智 郎 様
- 井上 一智 郎 様
- 相模 一智 郎 様
- 井上 一智 郎 様
- 伊賀 一智 郎 様
- 古賀 一智 郎 様
- 本島 一智 郎 様
- 上野 一智 郎 様
- 本島 一智 郎 様
- 吉浦 一智 郎 様

白井啓
古川次三

死亡通知並に会葬御礼

舍弟 矢野誠 (25才) 儀。パラナ州サントアントニオダアラ
 ナ市コチア産業組合倉庫主任として在職中。去る十二月二十五日
 午前二時頃突如心臓麻痺に犯され急逝いたしました。現地の方々
 の御計らいにより、遺体を護送され同日中実家に收容することを
 得まして感謝に堪えませぬ。

翌二十六日午後二時出棺バストス墓地に埋葬いたしました。生前の
 御厚誼を深謝し御通知に代えます。

追って葬儀の際は遠路わざわざ御多忙の中を御会葬下さいました
 上御町重なる御香料花輪など御供え頂き御芳志の段致重にも御礼
 申し上げます。一々拜趨御挨拶いたすべき処取込申勝手下り御意恕
 を願ひ紙上畧儀ながら御礼の辞謹んで申述べます。再 拜

一九二一年十二月二十七日

カロリア区

喪主 兎

矢野 武君

母 矢野 朝英

姉 三 次 清

親戚 三 次 武 定

友人 三 次 武 德

八重 橋 辰

信江代治香一雄一徹智見

- コチア産業組合
- サンパウロ本部御中
- サントアントニオダアラコチア倉庫
- 組合員従業員各 位
- コチア産組バストス倉庫
- 組合員並に従業員各 位
- カロリア区 各 位
- 並にバストス 各 位

JUNTA DE ALISTAMENTO MILITAR DE BASTOS

AVISO

Todos os convocados constantes da relação abaixo, ficam avisados de que o embarque para MATO GROSSO, será impreterivelmente no dia 10 de Janeiro proximo, conforme Circular nº 137-11-S/3 da 6ª CR, data de 20 de Dezembro do corrente ano.

NOME	CLASSE	Nº CAM	ENDEREÇO DO CONVOCADO
1- KAKUO OMOKAWA 面川カヲ	1943	992.137	SECÇÃO BOMFIM
2- SHIZUHIKO WAKANO 若野静彦	1943	992.102	" GLÓRIA 1
3- WILSON MODRO	1942	992.114	" CHÁCARA
4- APARECIDO F. RIBEIRO	1943	411.277	R. DUQUE DE CAXIAS, 822
5- ÉDSON CLÁUDIO FERREIRA	1943	411.272	R. 10 de NOVEMBRO 5/nº
6- HÉLIO LUIS DE SOUZA	1943	411.268	AV. 18 de JUNHO, 1
7- HIDEKI SATO 佐藤秀樹	1943	411.300	SECÇÃO BOMFIM
8- HIDEO OZAWA 小沢秀夫	1943	992.125	" ESPERANÇA 1
9- HISSAO HAYAKAWA 早川久夫	1943	992.107	R. CAMPO SALLES, 340
10- JOÃO ZULATO (IACRI)	1943	989.392	BAIRRO ÁGUA BÔA
11- JOSÉ DE MATOS NETO	1943	411.290	SECÇÃO GLÓRIA, 2
12- KEIZO KIONO 京野敬三	1943	411.288	" UNIÃO, 2
13- KENJI SATO 佐藤憲治	1943	411.298	" UNIÃO, 1
14- KIYOSHI OMDRI 大森清実	1943	411.282	R. ADEMAR DE BARROS, 206
15- TARODA MINORU 太郎田実	1943	992.124	R. PRES. VARGAS, 5/nº
16- NILSON FERREIRA	1943	411.265	R. ALM. ALEXANDRINO, 112
17- RIV-ECCHI ABE 阿部龍一	1943	411.284	R. PRES. VARGAS, 396
18- SHONDOKU MORIKAWA 森川	1943	411.222	" " 227.
19- TADASHI TODA	1943	411.267	SECÇÃO ALTO, 34
20- YOSHIHIRO KITAYAMA 堀山義宏	1943	411.273	R. GAL OSÓRIO, 8
21- SHIRO KATAYAMA	1943	411.104	R. 10 de NOVEMBRO, 416

N.B. Os convocados acima relacionados, devem comparecer munidos de seus Cartificados de Alistamento Militar, pronto para o embarque na Junta de Alistamento Militar local, às 3 horas da madrugada do dia 10 de Janeiro de 1962, e daqui serão transportados de caminhão para TUPÁ, a fim de tomarem o trem das 5,45 isto é, o trem 5 horas quarenta e cinco minutos, com destino a Lins via Bauru.

Secretaria da Junta de Alistamento Militar de Bastos, 27 de Dezembro de 1961.

Flávio Teixeira de Souza Secretario da J. A. M.

徴兵合格者にお知らせ

来る一月十日午前三時迄にバストス市役所兵事課に集合して下さい。

(各徴兵後証明書持参) カミエオソシテツパシに向います。同駅より

5時45分発の列車にてバカルー經由リンスに向うことになっております。

○ 父兄の方に御注意

多分すでに御存知とは思いますが蘇州兵営に入隊する子弟は

のカードを為念見せて上げて下さい。